

平成 24 年度 第 10 回県教育委員会会議
教 育 長 報 告

1 報告事項

「英語立県沖縄戦略推進事業」に係る国際交流拠点形成
中国上海および米国における交流意向書の締結について

2 事項の説明

- (1) 華東師範大学第二附属高等学校との締結 (6 月 11 日)
- (2) 上海市徐汇区 (じょわいく) 教育局との締結 (6 月 13 日)
- (3) テキサス州ヒューストン市独立教育区との締結 (7 月 31 日)
- (4) モンタナ州立大学及びボーズマン高等学校との締結 (8 月 1 日)

3 中国上海市、米国テキサス州ヒューストン市およびモンタナ州ボーズマン市の地区を選択した理由

- (1) 上海市は PISA 調査 (国際学力調査) ですべての分野において世界一となっている。華東師範大学第二附属高等学校は、上海市唯一の中国教育部指定重点高校で上海市四大名門校でもある。上海市徐汇区 (じょわいく) 教育局と華東師範大学第二附属高等学校との教育面での友好交流が、沖縄と中国の相互理解と教育交流を促進し、日中の友好を深める上で有意義である。
- (2) ヒューストンは全米第 4 の都市として知られ、公立学校学区システムにおいて、全米 7 番目に規模の大きい学区との交流に関する締結になる。ヒューストンには、アメリカ航空宇宙局 (NASA) のジョンソン宇宙センター公式ビジターセンターや、世界最大級の医療研究機関の一つである「テキサス医療センター」があり、交流により、世界最先端の宇宙開発技術や医療の取り組みについて、学ぶ機会を得ることができる。
- (3) モンタナ州ボーズマン市は、学生街で大変治安も良く、自然環境に恵まれており、環境について学習できる様々な交流プログラムが可能である。ボーズマン市に隣接する、イエローストーン国立公園は、1978 年に世界で初の世界遺産の一つに登録された。沖縄県にも 9 つの文化遺産が世界遺産に登録されているが、今後世界遺産をテーマにした高校生等の国際交流が推進できる。



(沖縄タイムス提供)



ヒューストンでの交流意向書締結